

2023年11月10日

各位

会社名 株式会社ADEKA
代表者名 代表取締役社長兼社長執行役員 城詰 秀尊
(コード: 4401、東証プライム市場)
問合せ先 執行役員 法務・広報部長 小八重 文武
(TEL. 03-4455-2803)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年5月12日に公表した2024年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 2024年3月期 通期連結業績予想の修正 (2023年4月1日~2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 426,000	百万円 36,000	百万円 35,500	百万円 21,000	円 銭 204.75
今回修正予想 (B)	410,000	34,500	34,500	21,000	204.75
増減額 (B - A)	△16,000	△1,500	△1,000	0	
増減率 (%)	△3.8	△4.2	△2.8	0	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	403,343	32,369	32,579	16,778	163.30

2. 修正の理由

最近の事業環境及び業績動向を踏まえ、2024年3月期通期連結業績予想の売上高、営業利益、経常利益を前回公表値(2023年5月12日)から修正しました。

売上高は、樹脂添加剤を中心に化学品事業の販売が当初予想を下回る見込みであることから、下方修正しました。樹脂添加剤では、自動車向け製品の需要が着実に回復する見通しですが、一方で、景気減速の影響により、中東・欧州でワンパック顆粒添加剤や酸化防止剤の需要低迷が続く見通しです。

営業利益は、主としてライフサイエンス事業の利益が当初予想を下回る見込みであることから、下方修正しました。同事業の第2四半期連結累計期間の業績が当初予想を下回ったことに加え、第3四半期以降、ブラジルでのジェネリック農薬の価格下落圧力が続く見通しであることが要因です。

経常利益の修正は、主として営業利益の減少が要因です。

なお、配当予想につきましては、前回公表値(2023年5月12日)から修正はありません。

第3四半期以降の為替レートは、「1USドル=138円、1ユーロ=149円」と想定しています。

(注) 上記の業績予想値は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上